

クイズで
知ろう!

現在の栗子トンネルは何代目？

山形県と福島県を結ぶ東北中央自動車道「栗子トンネル」は“日本一長い無料トンネル”として有名ですが、さて、何代目でしょうか。

特集 東北中央自動車道 南陽高畠IC～山形上山IC間 開通！



山形・福島・宮城を結ぶ高速道路の環状ネットワーク完成

去る平成31年4月13日、東北中央自動車道で置賜地域最後の区間となる南陽高畠IC～山形上山IC間が開通しました。当日は朝10時から、「かみのやま温泉IC」において、開通式典が行われ、吉村知事や県選出国會議員などが祝辞を述べました。知事は「南東北3県の県都が高速道路で環状に結ばれた。この圏域における交流人口の拡大、地域経済の活性化につながるように、皆さんと連携していきたい。」と語りました。式典の後、セレモニーが行われ、知事や南陽市、上山市の児童らが、テープカットやくす玉割りで、念願の開通を祝いました。また、上山市の民俗行事「加勢鳥(かせどり)」も演じられ、お祝いに花を添えました。

午後3時から一般に供用開始され、待ちかねたドライバー達が列をなし、真新しい高速道路の通行を楽しみました。



今回の開通で、米沢～山形間は20分の短縮となります。企業誘致、周遊による観光の活性化、地域医療環境の改善、災害時の代替ルートの確保など、多くの効果が期待されています。(写真・図 NEXCO東日本提供)

道路計画課 0238-26-6078



5月30日に、知恵袋委員会の委員委嘱状交付式を、県庁講堂で開催しました。

県では、子育て・人づくり、安全安心社会、観光交流など、様々な分野において長年の経験に基づいた知恵や知識を県政に反映させていくために、知恵袋委員会を設置しています。

吉村知事は、「これからの地域をよりよくするため、委員の皆様からの御意見や御提言を、今後の県政運営に反映し、本県の将来ビジョンである「自然と文明が調和した新理想郷山形」の実現につなげていきたい」とあいさつを述べ、各委員に委嘱状を交付しました。

今後、地域ごとに委員会を開催し、県政に関わる地域の課題等について、委員の皆さんから御意見をいただくことになっています。



令和元年度 山形県知恵袋委員会委員

～置賜地域～

秋津	ミチ子さん	(高島町)
加藤	嘉郎さん	(白鷹町)
高橋	美香さん	(米沢市)
手塚	奈美子さん	(南陽市)
宮	かよ子さん	(飯豊町)
渡邊	正義さん	(小国町)

行くべ山形！おきたま産直フェア

東北中央自動車道の開通を契機に、置賜産農畜産物の消費拡大及び置賜地域への観光誘客を促すため、5月25日（土）、福島市で開催された「2019ふくしま手づくりマルシェ」（来場者約3万人）において、置賜地域の農畜産物及び観光の魅力をPRしました。



イベントでは、おかひじきや、アスパラガスなど旬の農産物のほか、山形グミなどの農産加工品を販売しました。

ステージでは、「やまがた愛の武将隊」

が、歴史やグルメなどの魅力を紹介し、置賜地域への来訪を呼びかけました。

「つや姫レディ」は、雪若丸とつや姫のおにぎりの試食を提供しながら、山形の美味しいお米をPRしました。お子さんに大人気の「ペロリン」も登場し、多くの方に置賜地域の魅力を発信しました。



置賜の魅力を再発見し、磨き上げ、発信するための官民参加型組織「おきたま元気創造ラボ」の今年度第1回コアメンバー会議が、4月25日に開催されました。3年目を迎えた「おきたま元気創造ラボ」は、地域や住民の方々と繋がって「オール置賜」で置賜を更に元気に、そしてその魅力を発信していきます。

会議では今年度の「コアメンバー」の委嘱を行った後、今年度取組む最先行事業（以下の3つの事業）毎の班に分かれて早速検討を開始し、事業内容について活発な意見交換が行われました。今後は班毎に打ち合わせを重ね、取組みを進めていきます。

<最先行事業>

○置賜暮らしの魅力再発見事業：

・置賜管内で活躍する人材との交流、フィールドワーク・ワークショップの開催

○Waku Waku Okitama Share Project：

・置賜の魅力の情報発信、他の2班の活動を密着取材

○置賜ファン増・アピール事業：

・雪あそびを通して置賜の魅力をアピール



コアメンバーの集合写真

「おきたま元気創造ラボ」のフェイスブック

<https://ja-jp.facebook.com/okitamalabo/>

「おきたま食の応援団」は、置賜産農産物を地域全体で応援する取組みを行っています。この取組みの一環として、消費者として応援していただける個人（メルマガ）会員を募集中です！会員には旬の置賜の食の情報をお届けします。併せて、事業者会員も募集中です。詳しくはホームページ（<http://yamagata-okitama-shoku.net/>）をご覧ください。



グリーンフラッグ



InstagramのQRコード



FacebookのQRコード



また、Facebook及びInstagramでは、グリーンフラッグ店や農畜産物の情報をタイムリーに掲載しています。こちらもぜひご覧ください（QRコードを読み込んでいただくか、各アプリで「おきたま食の応援団」で検索ください）。

おきたま食の応援団

検索

知って得する情報

猫の被害にお困りの方へ

置賜保健所では、猫を捕獲することはできません。個人で猫の侵入防止対策を行ってもらうことになります。

猫が庭などに入らないようにするには

その猫にとってその場所が快適でなくする方法として、市販の犬猫用忌避剤や食用酢、木酢液、コーヒーかす等※を使用する方法や、猫を感知して追い払う超音波機器（ガーデンバリア）等を使用する方法等があります。保健所ではガーデンバリアの貸し出しを行っております。

※臭いが出るもの。臭いのきついものもあるので注意が必要。

地域での相互理解も大切

猫の世話をしている人に地域の方が困っていることを理解していただくことが必要ですので、一方的にならないよう、「むやみなエサやり禁止」チラシを回覧板で周知する対応も一つの方法です。チラシ等は保健所にありますので、御相談ください。

犬ねこの譲渡前講習会のお知らせ

置賜保健所では、保健所から犬やねこを譲り受けたい人を対象に、講習会を行っています。講習会では犬や猫を飼う時に守るべき法律事項、飼う時の心構え、迷惑にならない飼い方やしつけのポイント、注意したい病気のことなどをお話します。

日時：毎月第3木曜日
午後2時00分～
(約1時間)

場所：置賜保健所分庁舎
(米沢市金池三丁目1-26)

※事前に電話でお申し込みください。



問い合わせ先：生活衛生課 0238-22-3750

保健だより

「食中毒に気をつけましょう」

これからの時期は気温や湿度が高くなり、食中毒の原因となる細菌が繁殖しやすくなるので注意が必要です。

特に注意したいのは、「腸管出血性大腸菌（O157など）」や「カンピロバクター」による食中毒です。これらの細菌は牛、豚、鶏等の腸内に常在しているので、加工する過程で食肉に付着することがあります。



これらの細菌による食中毒を予防するには、肉を十分に加熱（75℃で1分以上）する必要があります。焼肉やバーベキューをする際はしっかり中心部まで加熱しましょう。また肉を加熱する際は、生肉専用のトングや箸を準備し、焼けた肉を食べる箸は別に準備し生肉に触れないようにして食べましょう。

同様にまな板、包丁、ボウル等の調理器具も生肉用を専用化し、区別して使用しましょう。また、肉に使用した調理器具はしっかり洗浄し、漂白剤、アルコール、熱湯等により殺菌しましょう。調理開始前及び肉、魚、卵等に触れた場合は必ず石けんで手を洗うことを習慣づけましょう。



担当課 生活衛生課食品衛生担当 電話0238-22-3740

お知らせ

「うつ病家族教室」を開催します

「うつ病」は決して特別な病気ではなく、誰もがかかりうる病気です。しかし、ご本人だけでなく、ご家族も戸惑いや不安をお持ちではないでしょうか？そこで、置賜保健所ではうつ病と診断された方のご家族を対象に、うつ病の正しい知識やご本人との接し方について学び、ご家族自身が元気になるための講座を開催します。

- ◎ 対象者 うつ病と診断された方のご家族 約20名
- ◎ 日 時／内 容 (全2回)

第一回 令和元年7月19日(金) 14:00~15:40
講 話 「うつ病の基本を学ぼう」
講 師 社会医療法人公徳会佐藤病院 精神科医

第二回 令和元年8月20日(火) 14:00~15:30
講 話 「家族の関わり方を学ぼう」
講 師 社会医療法人公徳会佐藤病院
公認心理師 / 臨床心理士

- ◎ 場 所 置賜総合支庁 501会議室
- ◎ 参加費 無料
- ◎ 申込み 7月17日(水)までにお電話でお申し込みください。

☎置賜保健所 地域保健福祉課 精神保健福祉担当
0238-22-3015



「里の名水・やまがた百選」候補の募集について

地域の人々に育まれてきた優れた湧水「里の名水・やまがた百選」。置賜地域では、慶次清水、滝の清水、澄心の泉、三階滝、若返りの水、知恵の水、岩清水、ブナしずくの8か所(県内44か所)が選定されています。今年も6月21日(金)までに名水候補の募集を行っています。応募要件は、良好な水質と水量を有し、地域住民等による保全活動が行われていることなどです。たくさんのご応募をお待ちしています。



やまがた百選

検索

☎環境課 環境保全・自然環境担当 0238-26-6035

クマに注意

清々しい初夏を迎え、楽しい山菜採りや溪流釣り、農林作業などで里山に入る機会が多くなります。さらにクマが餌探しで本格的に活動するためか、例年6月~7月にかけてクマの目撃・出没数が急激に増えてきます。次のことを確認し、遭遇した場合には冷静に対応してください。

- クマから見れば、山は自分の領分。人は侵入者です。
- ラジオやクマ鈴など音の出るもので、クマに自分の存在を知らせましょう。
- 子グマには要注意！近くに警戒している母グマがいて、大変危険です。
- 万一、出合ってしまったら、背を向けずにゆっくり後退してください。
- 餌付けとなる食べ物や生ゴミを山に放置しないでください。



☎環境課 環境保全・自然環境担当0238-26-6035

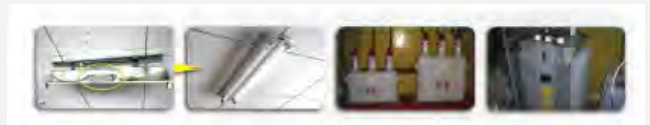
PCB含有廃棄物処分の期限について

古い工場やビルをお持ちのみなさん！

ポリ塩化ビフェニル(PCB)使用機器の 確認は大丈夫ですか？

PCBは、変圧器やコンデンサー、安定器等の電気機器の絶縁油として広く使用されました。しかし、有害であることが判明したため、昭和47年以降は製造や新たな使用は禁止されました。このため、絶縁油にPCBを使用した変圧器やコンデンサー、蛍光灯安定器などで廃棄物になったものはPCB廃棄物として特別な保管・処分をしなければなりません。

- ①健康被害がでるおそれがあります。
- ②処理期限内に処分しないと罰則があります。
- ③まもなく、処分できなくなります。



くわしくは、置賜総合支庁環境課まで！

☎環境課 廃棄物対策担当 0238-26-6034

クイズで知ろう！の答え

福島—米沢間を結んでいた「板谷街道」に代わる新道として計画され、明治14年に初代の栗子隧道(約876m、標高800m)が完成し開通しました。当時としては、日本で最も長いトンネルであったといわれています。

二代目は車が通れる道に改築され昭和12年に完成、三代目はルートを見直し東栗子トンネル・西栗子トンネルによる国道13号として昭和41年に開通しました。そして、平成29年11月4日に開通した東北中央自動車道「栗子トンネルが四代目」となり、土木技術の進歩により長さが8,972m、出入口の標高が440mまで低くなり快適で安全な通行ができるようになりました。「来たぞ、置賜高速新時代！！」

発行元

置賜総合支庁
総務企画部総務課

TEL
0238(26)6100
FAX
0238(24)1402

皆様のご意見、ご感想
を お待ちしております。



万世大路



国道13号



東北中央自動車道

(建設総務課 建設技術調整担当)